

3Dプリンタ製造 医療用フェイスシールド造形データを公開

「フェイスシールドを試作したが、うまく作れない」、
「安全性・実用性はどうか」など、
MUTOH3Dプリンタをご使用のお客様に最適化した
医療用フェイスシールド造形データ（GCODE）を
公開しています。

MUTOHは、3Dプリンタを活用したフェイスシールドの製作要望が高まる中、

- ①安全性が高い ②耐久性がある ③拡張性がある

以上の3つの特徴を持つ簡易型フェイスシールドを製作。
医療機関向けに無償で提供をしています。



構成品
(後頭部のゴムバンド使用でSサイズの方でも快適使用可)

帽子なし、つば付き
帽子の上からの着用。
2WAY方式の装着
が可能です。

Value
3D MagiX
MF-2500EPI

概要 (2020年6月25日現在)

商号	MUTOHホールディングス株式会社 (英文社名 MUTOH HOLDINGS CO., LTD.)
設立	1952年(昭和27年)3月5日 (創業:1942年(昭和17年)12月)
資本金	101億99百万円
本社事務所	東京都世田谷区池尻三丁目1番3号 TEL:03-6758-7100(代)
主な事業内容	グループ会社の経営管理および資産管理
ホームページ	https://www.mutoh-hd.co.jp

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金 受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金 受領株主確定日	毎年9月30日
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載 https://www.mutoh-hd.co.jp ※やむを得ない事由により電子公告をすることが できない場合には、「日本経済新聞」に公告いた します。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国各 支店で行っております。

ご注意

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座
管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 「配当金計算書」について
配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定
に基づく「支払通知書」を兼ねております。
確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴
収税額の計算は証券会社等にて行われます。
確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

株主優待

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式への投資の魅力をより一層高めることを目的として、株主優待制度を設けております。

【株主優待制度の概要】

□ 対象となる株主様

毎年3月末現在の株主名簿に記載された、100株以上の株式を保有していただいている株主様を対象といたします。

□ ご優待内容

毎年6月の定時株主総会後にお送りする当社オリジナル「選べるカタログギフト」に掲載されているの中から、ご希望の商品をお選びいただけます。
なお、お申込みには期限がございます。

ご所有株式に応じて「選べるカタログギフト」を贈呈

Aコース 1,000株以上 10,000円相当

Bコース 500株以上～1,000株未満 5,000円相当

Cコース 100株以上～500株未満 3,000円相当

●商品イメージ



写真は実際のギフト内容とは異なります。



MUTOHホールディングス株式会社

Business Report

2019年4月1日から2020年3月31日まで

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、2019年度(第71期)報告書をお届けし、当期の業績および当社グループにおける取り組みにつきまして、ご報告申し上げます。

MUTOHホールディングス株式会社
代表取締役社長 磯邊 泰彦

事業の経過および成果のご説明

2019年度における経済環境は、12月までは総じて緩やかな回復基調が続いていましたが、1月以降は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、急速に景気が減速しています。

このような状況の中、当社グループは、将来の成長に向けた戦略投資を行い、経営体質の強化策を推し進め、収益力向上に取り組んでおりますが、主力事業である情報画像関連機器事業においては、為替の円高傾向や主力の大判インクジェットプリンタにおける価格競争の激化に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響により海外地域の販売が急速に減少する結果となりました。

大判インクジェットプリンタでは、高画質、生産性、操作性を追求した新設計プラットフォームの「XpertJet」新シリーズの販売を開始しました。サイン市場向けに「XPJ-1682SR・XPJ-1641SR」の2機種を、成長分野と位置付ける産業市場向けには「XPJ-661UF・XPJ-461UF」の2機種を発売し好評を博しております。また、ブルーフィング市場で実績のあるCGS社(独)のカラーマネジメントソフトウェアと当社製品および当社独自のMPインクとの組み合わせによる、一般商業印刷、紙器パッケージ印刷、軟包装印刷向けの「印刷本紙対応ブルーフィングシステム」の提供を開始するなど、新たな市場の開拓にも取り組んでおります。

3Dプリンタでは、宝飾品デザインから製造業における部品試作など、高い精度の要求される造形に適した高精細造形3Dプリンタ「ML-100」

「ML-80」を発売しました。

加えて、社会貢献活動の一環として、新型コロナウイルスの感染拡大による医療現場における防護具不足が深刻な状況となっていることを受けて、当社製3Dプリンタユーザ向けに最適化したフェイスシールドの造形データを当社ホームページ上で公開。併せて、当社製3Dプリンタで制作したフェイスシールドの医療機関への無償提供を行っております。

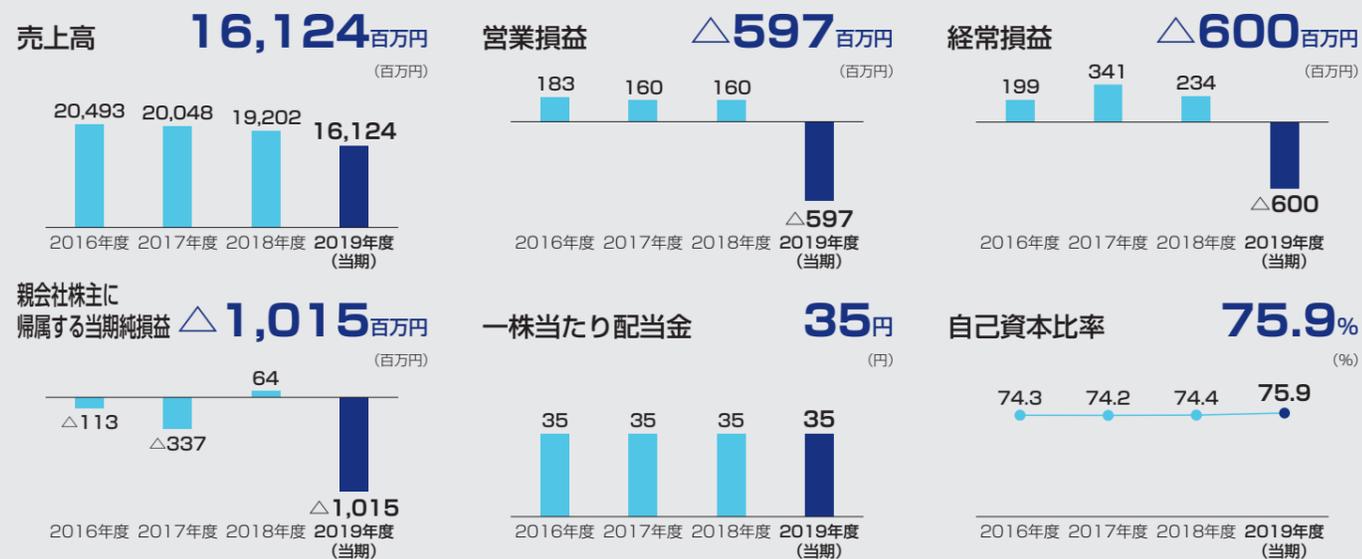
以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高は、情報サービス事業、設計計測機器事業、不動産賃貸事業の国内販売は堅調に推移いたしました。が、為替の円高や新型コロナウイルスの影響による情報画像関連機器事業の販売減により、161億24百万円(前期比16.0%減)となりました。

営業損益は、売上高の減少による売上総利益の減少を経営改革効果および販管費の削減でカバーしきれず、5億97百万円の損失となり、経常損益は、円高傾向による為替差損その他営業外費用の計上等により、6億円の損失となりました。親会社株主に帰属する当期純損益では、不動産や有価証券の売却、年金制度変更等による特別利益の計上、情報画像関連機器事業にかかる固定資産等の時価評価による評価損等の特別損失の計上に加えて、法人税および法人税等調整額の計上などにより、10億15百万円の損失となりました。

なお、当期末の配当金は、株主の皆様の日頃のご支援にお応えすべく、前年度と同額の1株当たり35円00銭を継続させていただきます。

皆様には、今後ともご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

連結決算ハイライト



事業セグメントの概況

情報画像関連機器事業

売上高 **11,759**百万円 セグメント損失 **△839**百万円



アジア地域：中国をはじめとした海外地域の販売が米中貿易摩擦の影響などにより、売上高46億38百万円（前期比23.9%減）、セグメント損失5億84百万円となりました。

北アメリカ地域：市場環境の激化による販売価格下落の影響などにより、売上高25億40百万円（前期比23.0%減）、セグメント損失1億14百万円となりました。

ヨーロッパ地域：販売価格の下落に加え、為替の円高傾向の影響などにより、売上高45億80百万円（前期比19.4%減）、セグメント損失1億41百万円となりました。

情報サービス事業

売上高 **2,398**百万円 セグメント利益 **272**百万円



収益性向上施策の取り組みにより増収増益となり、売上高23億98百万円（前期比12.7%増）、セグメント利益2億72百万円（前期比135.5%増）となりました。

設計計測機器事業、不動産賃貸事業ならびにその他の事業

売上高 **1,965**百万円 セグメント利益 **427**百万円



(設計計測機器事業)
新型コロナウイルス感染拡大の影響により設計製図機器の学校販売が第4四半期に伸びず、売上高13億10百万円（前期比0.2%減）、セグメント利益2億21百万円（前期比2.8%減）となりました。

(不動産賃貸事業)
第4四半期に一部賃貸物件の売却を行いました。賃料改定ならびに販管費の削減などにより増収増益となり、売上高3億17百万円（前期比0.9%増）、セグメント利益2億22百万円（前期比2.6%増）となりました。

(その他の事業)
販売は若干減少したものの、販売施策の見直しと仕入原価の低減、販管費の削減などの効率化により損失額は減少し、売上高3億38百万円（前期比8.7%減）、セグメント損失16百万円となりました。

連結財務諸表

■連結貸借対照表 (単位：百万円)

科目	当年度 2020年3月31日現在	前年度 2019年3月31日現在
資産の部		
流動資産	15,719	16,275
固定資産	11,149	12,632
有形固定資産	4,496	8,020
無形固定資産	569	521
投資その他の資産	6,083	4,089
資産合計	26,869	28,907
負債の部		
流動負債	4,375	4,379
固定負債	1,381	2,255
負債合計	5,756	6,635
純資産の部		
株主資本	22,732	23,908
その他の包括利益累計額	△2,346	△2,390
非支配株主持分	726	753
純資産合計	21,113	22,272
負債・純資産合計	26,869	28,907

■連結損益計算書 (単位：百万円)

科目	当年度 自 2019年4月1日 至 2020年3月31日	前年度 自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高	16,124	19,202
売上原価	10,994	12,978
販売費および一般管理費	5,728	6,063
営業損益	△597	160
営業外収支	△3	73
経常損益	△600	234
特別利益	1,394	190
特別損失	1,428	230
税金等調整前当期純損益	△634	194
法人税等 他	380	130
親会社株主に帰属する当期純損益	△1,015	64

TOPICS

MUTOH PROOFING SOLUTION

印刷本紙へ **ダイレクトプリント** -インクジェット色校正-

用紙の風合いを活かした本機印刷に近い仕上がりを実現する「MPインク」。そのインクを搭載した「VJ-628MP」「VJ-1627MH」と、印刷業界で多くの使用実績を持つカラーマネジメントRIPソフトウェア「ORIS Color Tuner」（ドイツCGS社製）の組み合わせにより、コート紙や上質紙など、印刷本紙を使用した本印刷前の色調確認（色校正）が可能になりました。



MPインクは、伸縮性があり、折り曲げても割れにくいので、紙器パッケージや軟包装用途の仕上がり確認に最適。インク表面の凹凸が少ないため、PPや箔押などの定着性も良く、紙器パッケージのサンプル印刷などで高級感や付加価値をつけたいデザインも、リアルに再現ができます。

印刷業界向け小型フラットベッドUV LEDプリンタ「461UF」・「661UF」を発売

フラットベッドUVLEDプリンタ

新開発「UV LEDランプ ローカルディミング制御技術」搭載
バーニッシュの印字表現が広がる

XpertJet
461UF / 661UF



A3+サイズ対応 |XPJ-461UF

A2+サイズ対応 |XPJ-661UF

MUTOH新開発の「UV LEDランプ ローカルディミング制御技術」（特許出願中）を採用したことで、より質感の細やかな調整が可能となり、オーダーグッズ、ノベルティ、少ロット多品種用途などリアルな付加価値印刷を実現します。

ValueJet 8年連続受賞の快挙を達成!

2019 SGIA Product of the Year Winners



Roll-to-Roll ソルベント / ラテックス (80インチ以上) 部門

VJ-2638X

UVフラットベッド / ハイブリッド (\$100K以下) 部門

VJ-1638UH

MUTOHのプリンタは世界の多くのお客様から賞賛されています

SGIA Expo : SGIAとは、Specialty Graphic Imaging Associationの略で、サイングラフィックや印刷業界向けに看板やディスプレイ等広告物制作のための大型のプリンタ設備や、様々な材料を展示する米国最大規模の展示会です。